

平成25年度 活動報告

1 総務委員会

1.1 月例集会の活性化

- (1) 集会名称を「定例会議」から「PEIT Monthly Meeting (PMM)」に変更し、開催案内書兼議題提案書も、お役所文書スタイルから、丸ゴシック体文字のセミポップ調スタイルに変更。
- (2) 議題提案は、業務環境整備と受注活動案件に関する議事は運営委員会マターとし、会員の資質向上と実施中案件に関する議事は SIG 合同連絡会議マターとし、会議性格明確化
- (3) 議題提案は、総務委員長業務とし、300 通/月も飛び交う ML から問題点を引出して議題に仕上げる。一方、事業委員長提出の連絡会議議題を(2)の基準に従って振り分ける。

1.2 スタッフ業務の標準化とそれを制度化して次世代に引き継ぐための規則化

- (1) 現行細則('13-05/22 理事会変更承認)は当初から業務マニュアル兼用を考慮して作成
- (2) 組織図の基本形と委員会の業務分担('13-09/28 理事会承認)、書類管理規定(未完成)
- (3) 入/退会登録手順、会員管理及び顧客管理システムの 3 件はアイデアなく中断中

2 財務委員会

2.1 ゆうちょ銀行口座新設

ゆうちょ銀行口座からゆうちょ銀行口座への振込手数料は無料であり、コスト削減を図る。

三井住友銀行もそのまま利用できます。振込手数料のかからない方を利用してください。

2.2 出金伝票の活用

会の出金事務は、出金伝票を基に実施するようになりました。出金伝票は、月例会の時に財務担当者に渡し、次の月の 10 日 以内に振り込みます。

3 事業委員会

3.1 第13回たま工業交流展への出展

平成 26 年 2 月 27 日(木)～28 日(金)10:00～16:00 の 2 日間、東京都立多摩職業能力開発センター(東京都昭島市東町 3-6-23)にて開催された。

出展企業・団体は、環境関連:24 社、機械・金属・電気機器関連:63 社、その他製造業:25 社、情報関連・ソフト開発関連:23 社、学校関連・協力団体等:17 団体があり、(社)東京技術士会はここに出展した。2 日間で訪問者は、27 名で、商談の引き合いはあったが、残念ながら成立案件はなかった。

3.2 平成 26 年 4 月 1 日現在の SIG 登録メンバー表は次の通りです。

NO	SIG 名称 (識別記号)	SIG 内容	リーダー (※フリーダー)	メンバー名(順不同) (リーダー除く)
1	中小企業 支援センター (SSC)	中小企業経営・技術支援	武田悦男 (北口良夫)	北口良夫、安藤成之、二川真志、深澤 潔、久保 康弘、二宮孝夫、山根幹大、木村稔、室橋雅彦、 木村孝之、平岡康一、志澤達司、西宮恵子、渡辺 芳照、奥田孝之
2	技術評価センター (TEC)	技術調査、評価、鑑定	平野輝美	深澤潔、二宮孝夫、久保康弘、沖津 修、二川真 士、武田悦男、平岡康一
3	官公需情報 センター (KIC)	官公需の発掘と入札活 動の支援	二宮孝夫 (山根幹大)	山根幹大、平野輝美、小峰史郎、木村孝之、久保 康弘、木村稔、武田悦男、深澤 潔、進藤秀昭、 奥田孝之
4	物流効率化支援 センター (LSC)	中小企業の物流効率化 支援	山根幹大 (齋藤正宏、 室橋雅彦)	齋藤正宏、安藤成之、室橋雅彦
5	こども理科クラブ (CSC)	こども理科学教育	永田一良	小峰史郎、神部美夫
6	表面処理技術 研究会 (SPTG)	銀鏡塗装技術の開発実 用化	平野輝美	
7	知的資産経営支援 センター (IAMS)	知的資産、経営、融資支 援	深澤 潔 (久保康弘)	武田悦男、久保康弘、杉浦守彦
8	ICT 活用支援セン ター (ICTC)	自動開発ツール GeneXus など ICT 全般の導入活用支援	木村 稔 (小峰史郎)	小峰史郎、神部美夫、西宮恵子
9	農業支援センター (ASC)	農産物への経営、技術支 援	平野輝美	室橋雅彦、二宮孝夫、山根幹大、小峰史郎、五十 嵐昭平、北口良夫、木村 稔
10	海外進出支援セン ター (OSC)	中小企業の海外進出支 援	二宮孝夫	小峰史郎、久保康弘、林 英一、志澤達司、渡辺 芳照

3.3 SIG 合同連絡会議において、講師交替制で毎回勉強会を開催した。

4 企画委員会

4.1 「地域プラットフォーム支援チーム」の開設に貢献した。

経済産業省の「新制度: 中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」の活用を提案し、「西武・首都圏地域支援ネットワーク」の構成機関として登録いただき、PEIT の新事業化を目指す標記チームの開設に貢献した。

4.2 2013.3.3 に策定された「中期事業計画」を見直し、2014.1.29 の運営委員会で改定した。

4.3 2013.9.25 に策定されたH25 年度活動計画を見直し、2014.3.26 の理事会で「H26 年度活動計画」を確定した。

5 広報委員会

5.1 News Letter を 2 回発行(各回 1500 部)し、会員に配布した。

No.11(2013.8.15) 表面: 会長の時流散歩(インフラを捨てる決断), 東京技術士会(PEIT)ホームページリニューアル, 裏面: 第 5 回定時総会と委員会体制, こども理科クラブ。

No.11(2014.2.19) 表面: 「地域プラットフォーム」の活用をおすすめします～中小企業の皆様へ, 裏面: 「新ものづくり補助金」申請のお手伝いをします!, 東京技術士会は東京商工会議所の中小企業国際展開アドバイザーです。

「地域プラットフォーム」と「新ものづくり補助金」の紹介記事を掲載した。

5.2 パンフレットの印刷

たま工業交流展で配布用に「経営革新計画」「新ものづくり補助金」のチラシを印刷した。(原稿は、地域PF活用検討会リーダーの武田会員が作成)各会員には News Letter とともに 3 部送付した。

5.3 産業交流展への出展

東京都の主催で 16 回目となる産業交流展 2013 年 10 月 30 日(水)～11 月 1 日(金)、東京ビッグサイトで開催された。首都圏の中小企業の優れた技術や製品をに展示し、販路拡大、企業間連携の実現、情報収集・交換などのビジネスチャンスを提供することを目的とした展示会である。展示会全体では 46,000 名が来場した。東京技術士会は今回で4回目の出展を行い、パンフレット、ポスターなどを用いて、来場者の応接に対応し、技術相談に応じた。

5.4 フェイスブックページの開設と記事の投稿

理事会の承認を得て、フェイスブックページ内に東京技術士会のページを開設した。ページの「いいね」総数は70を超えている。記事ごとのリーチ数は以下の通り。

- ① たま工業展出展案内……………36
- ② 「経営革新計画」と「ものづくり補助金」……117
- ③ 勉強会記事(西宮会員)……………137
- ④ 勉強会記事(秋元会員)…………… 39

5.5 安価に印刷できる印刷会社の選定

News Letter の発行に先だって安価で印刷できる印刷所を探索するため、見積を4社からとった。最終的に金額が最安の印刷所(北千住)を現地訪問し、品質・納期・製作体制に問題がないことを確認した。(NewsLetter11,12 号、パンフレットを印刷済み)

6 HP委員会

6.1 ホーム:東京技術士会のタイトル画像(各頁共)の変更、「技術士とは」の追加、「What's New」の適宜更新と「過去の実績」の追加およびアクセスカウンターの追加を行った。

6.2 会社ご案内:「活躍する技術士」フォーマットと登録会員の更新を行った。

6.3 SIG&サービスマニュー:各SIG内容説明の追加登録を実施した。

6.4 入会ご案内:総務委員会アドレス変更、会費の追加などを実施した。

6.5 会員のページ:「勉強会」、「日程」の項目を追加、会員の名簿、役員・委員会名簿、SIG 名簿の更新を行った。

6.6 メールアドレス管理:会員、役員、委員会、SIGの各メーリングリストの登録・更新を行った。

7 各SIGの活動

7.1 中小企業支援センター(SSC)リーダー:武田

事業実績

- ① 展示会に参加しポスター展示および情報・名刺収集した。(産業交流展 2013.10/30-11/1, たま工業交流展 2013.2.8-9)
- ② 平成24年度補正予算事業「ものづくり補助金申請」の技術審査を東京都中小企業団体中央会より受託した。2回(延べ60名、約 1,700 社、新入会員9名)
- ③ 地域プラットフォーム(西武・首都圏地域支援ネットワーク;代表機関・西武信用金庫)支援チームを作り、「ミラサポ」の専門家登録をサポートした。(登録専門家14名+西武以外3名)
- ④ 地域プラットフォーム(西武・首都圏地域支援ネットワーク)の構成機関に登録した。
- ⑤ 「コラボ産学官」を訪問し連携の可能性を検討した。(3/4)
- ⑥ 荒川区の専門家登録に協力した。(登録者 名)
- ⑦ 町田商工会議所を訪問。地域PFの連携を検討した。(10/30、会員に渡辺芳照氏入会)
- ⑧ 工団連の登録専門家の顧客開拓ができなかった。(加入工業会から企業の名簿が得られなかった)

7.2 知的資産経営支援センター(IAWS)リーダー:深澤

H25 年度は、昨年度からさらに発展した知的資産経営に関するセミナー開催を予定していたものの、残念ながら実施できておらず、実績なし。

7.3 物流効率化支援センター(LSC)リーダー::山根

平成 25 年度は、受注目標を 150 千円(納付費用:15 千円)とし、官公需のアイテム発掘を中心に活動したが、実績なし。

7.4 官公需情報センター(KIC)リーダー:二宮

H25 年4月~H26 年度 3 月実績

- 有望な入札案件の紹介件数 19 件
- 入札の希望票提出件数 6 件
- 入札の参加件数 5 件
- 落札の件数 2 件

7.5 ICT 活用支援センター(ICTC)リーダー:木村稔

- ① H25 年度は、東京都水道局の「情報処理技術研修の業務委託」に応札したが、受注にいたらず、今のところ実績なし。
- ② システム更新計画中の教育系中小企業1社に対してシステム自動開発ツール GeneXus を提案したが、受注に至らず。
- ③ 規模別中小企業 ICT 支援メニュー作成は検討中であり、未整備。

7.6 海外支援センター(KIC)リーダー:二宮

活動総括

- ① 東京商工会議所の「国際展開アドバイザー」に24年度に引き続き任命された。
- ② 東京商工会議所のマッチング及びJICA公募説明会に2回出席した。
- ③ JICA支援事業を某企業に紹介した(客先が断念して成果なし)。
- ④ 12月度の説明会で「日本ベース株式会社」を紹介された。同社と協議を重ねて「アドバイザー業務契約」を締結した。
- ⑤ 日本ベース株式会社が台湾で訪問する建設会社を紹介し、2月24日のミーティングを設定した。

7.7 こども理科クラブ(CSC)リーダー:永田

- ① 小中学校向文部科学省理科指導要綱の理解を深めた。
- ② 東大CoREF(大学発教育支援コンソーシアム推進機構)と連携して、知識構成型ジグソー法教材作成に注力した。
- ③ 日本技術士会科学技術振興支援実行委員会に、東大CoREFとの連携内容とジグソー法教材の概要を報告した。

7.8 技術評価センター(TEC)リーダー・平野 輝美

活動概要

- ① 平成25年度, 連携イノベーション促進プログラム 技術・製品開発動向調査委託(東京都)を受注し, 実施した。
- ② 平成25年度, 連携イノベーション促進プログラム 技術・製品開発動向基礎調査委託(東京都)に入札した(結果未定)。

7.9 表面処理技術研究会(SPTG)リーダー:平野

活動概要:展示会における出展支援(銀鏡塗装品等)を準備し, 協力した。

7.10 農業支援センター(ASG)リーダー:平野

活動概要:リーダーを渡邊より平野に変更した。